

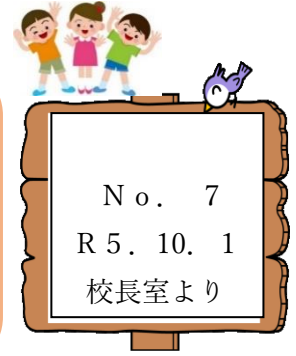


おか



さくらの丘 だより

岸和田市立光明小学校 校長 笠川智香



No. 7

R 5. 10. 1

校長室より

奇跡をおこせ！ ベストをつくそう！ 運動会スローガン

運動会本番まであと 11 日の練習となりました。どの学年も、児童会のスローガン「奇跡をおこせ！ ベストをつくそう！」をもとに、一生けん命に練習に励んでいます。ひとり一人の努力が集団のパフォーマンスを向上させます。

皆さん覚えていますか？ 昨年のクラス対抗リレーの時、転んでしまった児童が立ち上がり会場が息をのむ中、走り続けました。そして、バトンを最後の走者（アンカー）に渡すことができ、バトンをつなぎ心をつなぎ最後まで力を抜くことなく走りぬけたその姿に、会場中が大きな拍手を送ったこと。

今年も『ひとりみんなのために、みんなは一人のために』。ベストをつくそう。

宝箱

あいさつ運動 ボランティアに参加！！

児童会を中心に、水曜日の朝に挨拶運動をしています。更生保護女性会の皆さんも参加される中、今回は、児童会企画で有志での挨拶ボランティアをつのりました。いろいろな学年の子どもたちがたくさん来てくれて、パワフルなあいさつをして、活気と元気がすごく出ました。皆さんありがとう。あいさつの輪がもっともっと広がるとよいですね。



◎ 学校の風景

図書室の風景 ～ 黙々と



朝のボランティアそうじ



◎ 地域交流・・・ 9/6(水)

この日は、1年生の児童と同じ地域に居住で他校へ通学している同学年の児童と交流を持ちました。音楽の時間を使って校歌の紹介で歌ったり、いろいろな楽器の紹介をしました。共同学習を通して子どもたちがふれあい和気あいあいと学習し、お別れの時には、クラスの子が車いすを押してお見送りをしました。



別の日には、さくらのお友達と一緒にマクドナルドのお店の店員さんとお客さんになって楽しみました。素敵な手作りのプレゼントも添えてお見送りしました。

これから大きくなって、様々な人たちと共に助け合い共に支えあいながら、社会を生きていく、そのような良い機会となっています。もっともっと楽しいことをしていきましょう。

◎ 良いところ見つけ

各学年の教室前廊下などに、たくさんのすてきな紹介がなされています。自学ノートであったり、活動風景であったり、作文や絵の紹介であったり、各学年でこれいいやん！ ていうものがいっぱいあります。右の写真は「6年生 2学期も頑張っています！！」のコーナーでした。



どの学年もどんどん紹介してほしいと思います。

◎ お祭りが近づいてきました・・・安全そして楽しい祭礼に

運動会の練習や10月祭礼が近づき、気分もウキウキ(!?)して、落ち着きがなくなっている児童もいます。楽しい気持ちと静かに落ち着いて取り組む気持ちのオン・オフを切り替えましょう。思わぬ事故やトラブルにつながりますから、十分にわきまえた行動を心がけてください。そして、今現在、市内ではインフルエンザとコロナが混在して、両方の罹患者が増えています。運動会当日、欠席しないよう、手洗い・うがい・しっかり食べてしっかり眠るといった生活習慣を心がけてください。

◎ 平和学習 作文の紹介です

2学期が始まってすぐに全学年で平和学習を行いました。各学年で勉強したことを作文にしましたね。学年便りの裏面に紹介された作文の中から、ピックアップして載せました。

ご家庭でも、お話してみてください。

(裏面に続く)

2 学年「おこりじぞう」

・げんばく こわかった。せんそうがおわるじだいがきたらいいな。みんながたのしく
いきられるせかいをつくりたいとおもった。
(2年)

・一しゅうずーっとせんそうをしないように、へいわにしたい。だから、ばくだんとかミサ
イルをうたないようにしたい。せんそうはいやや。やめてほしい。こわかったです。
(2年)

・いまは、せんそうはないけど、せんそうのときに、おった人は、たいへんやったとおもっ
た。げんしばくだんが、おちてきて、なくなった人が、かわいそう。子どもや、赤ちゃんの
ときにばくだんで、なくなった人はもっといきたかったのに、なくなってかわいそう。
(2年)

3 学年「ひとつの花」

・せんそうがなければ、あんな数の人たちが死ななかったのに、なんでせんそうをするんだ
ろうと思いました。せんそうでなん人も死んでいるのに、なんでせんそうをやめないんだろ
うなあと思いました！！せんそうはもうやらないでほしいと思いました。せんそうがなくなっ
てへいわなじだいになって、みんながいきられるちきゅうになってほしいなあと思いました。
ちきゅうは、みんなが元気ですめるちきゅうになってほしいと思いました。せんそうをやる
んじゃないくて、みんなでたのしくいきられるちきゅうになってほしいと思いました。
(3年)

・ゆみ子のおとうさんがなくなっちゃったときは、自分だとないてくやしがりります。一番心
にのこったのはおとうさんとおわかれするときに、コスモスをくれたところです。平和になっ
たときは、みんなどう思っていたのかは、せんそうが終ってやっと平和になれてうれしいと
思います。せんそうをいまもやっているウクライナとロシアにせんそうをおわってほしいで
す。ずっとちょうせんがミサイルを飛ばしているけど、先生がいていたじっけんをして
いるのかなと思いました。これからもせんそうのことを考えたいです。
(3年)

・せんそうに、わたしのお父さんがいかないように、やさしい日本にしたいです。まだ、ゆ
み子が、まだ小さいから、お母さんがたいへんだらうなあ～と思いました。本当に、せんそ
うは、こわいことなんだなあ～と、こわい気持ちで「ひとつの花」を見ました。今は、ロシ
ア・ウクライナでせんそうをしています。ロシアとウクライナにすんでいる人たち、へいた
いの人の気持ちは、苦しい思いだとおもいます。これから、せんそうがない世界をいのりま
す。
(3年)

・ゆみこのお父さんがくれたコスモスの花びらが1枚おちた時、ちょうど、ゆみこのお父さ

んがのっている汽車に爆弾がおちて、ゆみこのお父さんがしんでしまった所が、1番心のこりました。なぜかという、赤紙をもらって、せんそうに行く始日に、しんでしまったという、しかも行き道に、そこがむねにぐっときました。みていたら、やっぱりせんそうはもちろんやっちはいけないし、こわいし、いやなことまんさいです。わたしは、こんなに平和なじだいに生まれてきて、ほんとによかったです。わたしが一番きになるところは、どうしてむかしはせんそうなどざんこくなことをしたのかです。わたしの意けんは、国のとりあいだと思います。せんそうでかって、この国がえらいとなったとしても、えらいからなに？どうなるの？と、私は思います。

(3年)

4 学年「お母さんの木」

・わたしは、「お母さんの木」というのをみて、戦争は、人にとって大切なものをうばってしまうんだな、と思いました。命とか家族とかなくなってしまったら、ぜったいにみんなかなしむし、やっている方も同じことされたらイヤなのに、なんでやったんだろうと思いました。せんそうは、ケンカとはぜんぜんちがうものだと、分かりました。これからは、国と国がたすけあえる世界にしたいな、と思いました。

(4年)

5 学年「火の海 大阪」

「戦争の怖さをあらためて学んだ」 (5年)

わたしは、戦争がとても怖いのです。映像ですが、とても怖いことが伝わります。

なぜ戦争が起きるのか、考えました。ほしい物、土地の取合いと思いました。子供どうしの取合い、ケンカは、あやまれば許される事がありますが、戦争は、人の大切なものをうばうので絶対許されない事だと思いました。

戦争をできるだけなくすためにわたし達でできる事を考えてみました。本当に少なくできるかは、わかりませんが、考えてみました。自分達が戦争は絶対にやったらあかんと思っておくのが大切だと思いました。

あらためて戦争の恐ろしさ、悲しさを学ぶのも大切だなと思いました。

戦争がなくなって世界が平和になってほしいです。

「火の海 大阪」 (5年)

私は、大阪大空襲の映ぞうを見ました。広島や長崎の空爆は知っていたけど、大阪の空襲のことはあまりしりませんでした。

そのお話に出てきたお母さんの時代は夜にばくだんがおとされたり、いつおとされるかわからない日々でとても一日生きることがこわかったんじゃないかと思いました。戦争のときはご飯など少なく、食べるものがなかなかなかった時代に私がそういうらしをしていたら、どんなじゅたいだったのかが想像がつきませんでした。

戦争は人の命をうばうだけ。だと私は思いました。全体に昔の人や現代の人も同じ気持ちだったりしたと思います。この世界から戦争がなくなったら、とても楽しい平和になると思っています。

(次回も紹介します)